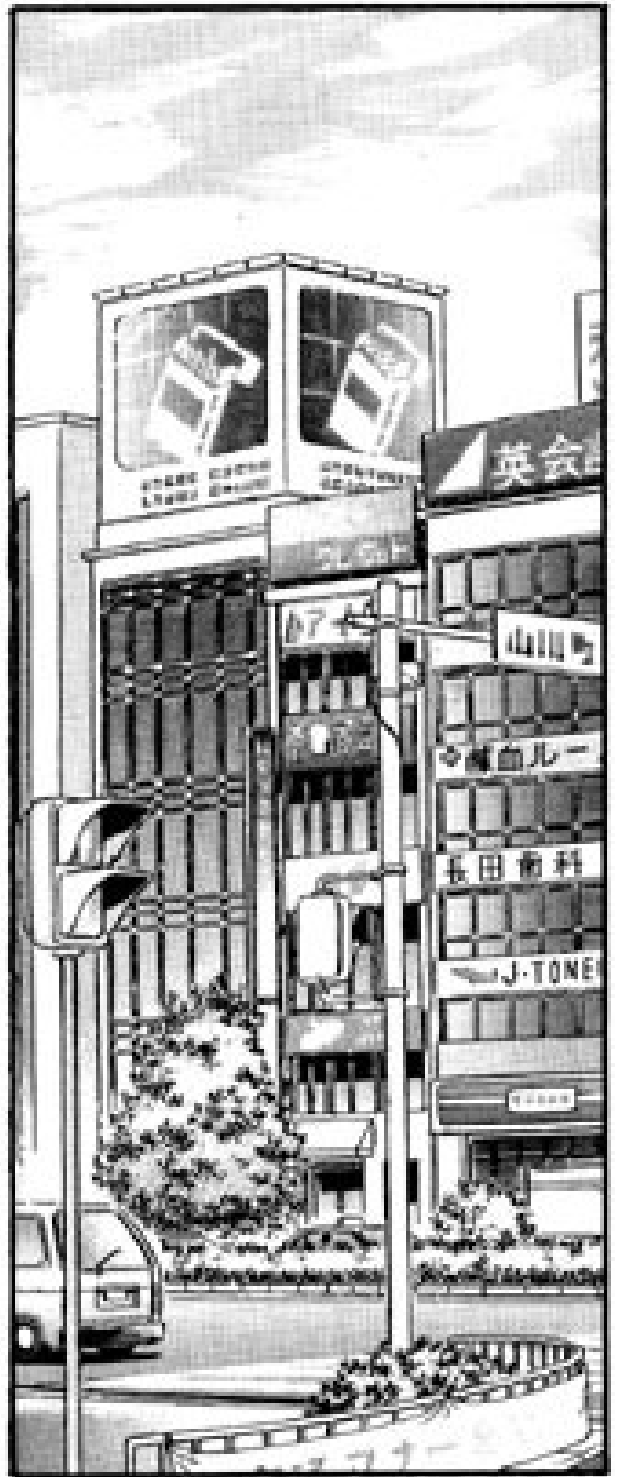


秘密の小部屋

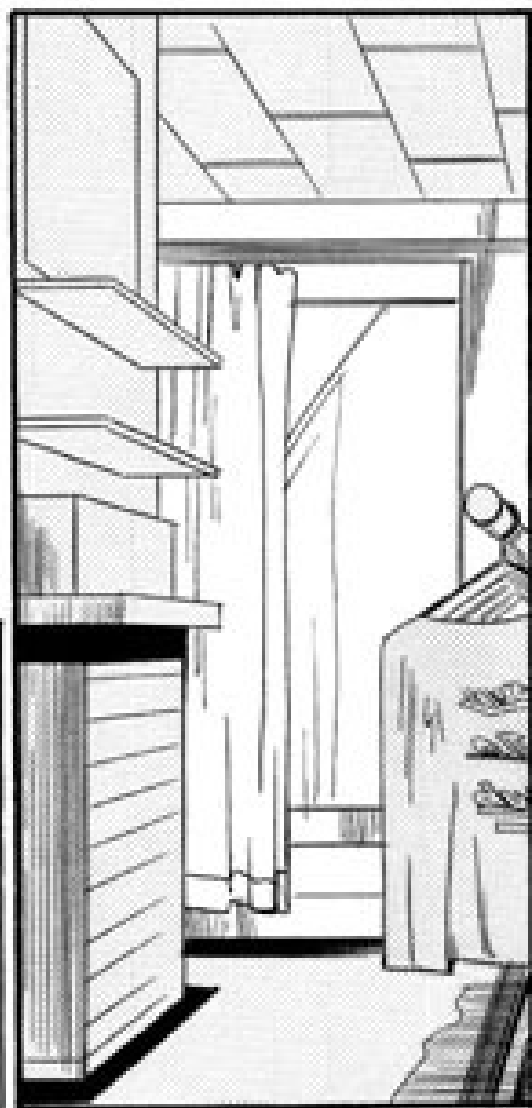


烏賊松





私の住む町には
小さなデパートが
あります



そのデパートには
私のお気に入り
洋服屋さんがあ
ってよく服を
買いに行きま
す



と言いつても

そのお店は別に
ブランド物や
オシャレな服を
売ってる訳では
ないんです

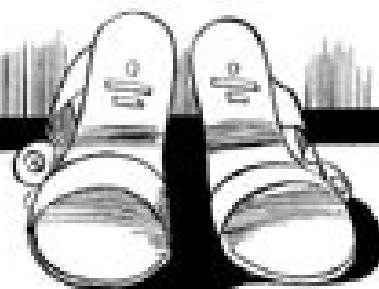
どこにでも
売っていきそうな
無難な品揃えの
お店です

私が気に入って
いるのは

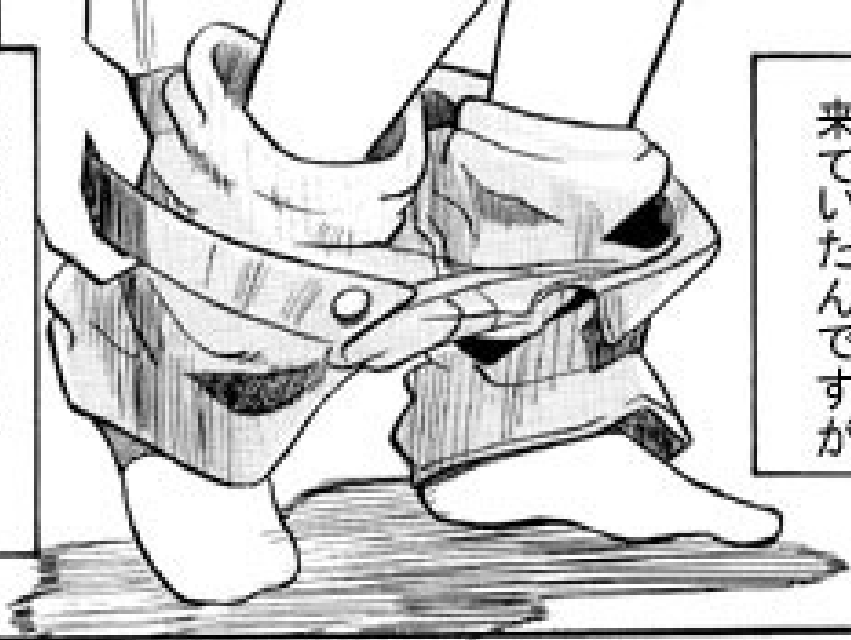
柱の影になっていて
店員さんもあまり
注意を払っていない
場所にあるんです

このお店の
試着室——

だから何着でも
好きなだけ気楽に
試着できるのが
いいんです



そういう訳で
よくこのお店に
来ていたんですが



そのお気に入り
の環境がアタになる事が

ありました







人が来たら

困るだろ??

おま!



騒くなよ
お嬢ちゃん



千カイン?

まじかイン??



この
オジンサン

こ...



やだ...
どうして...

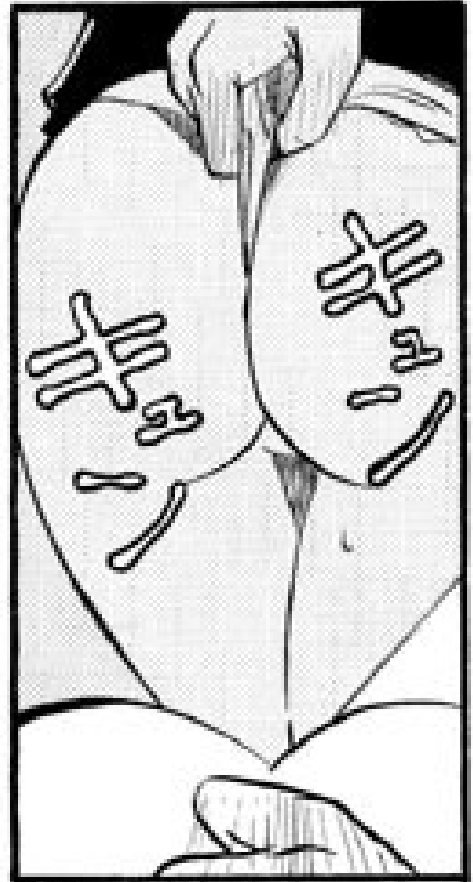
逃げなま...

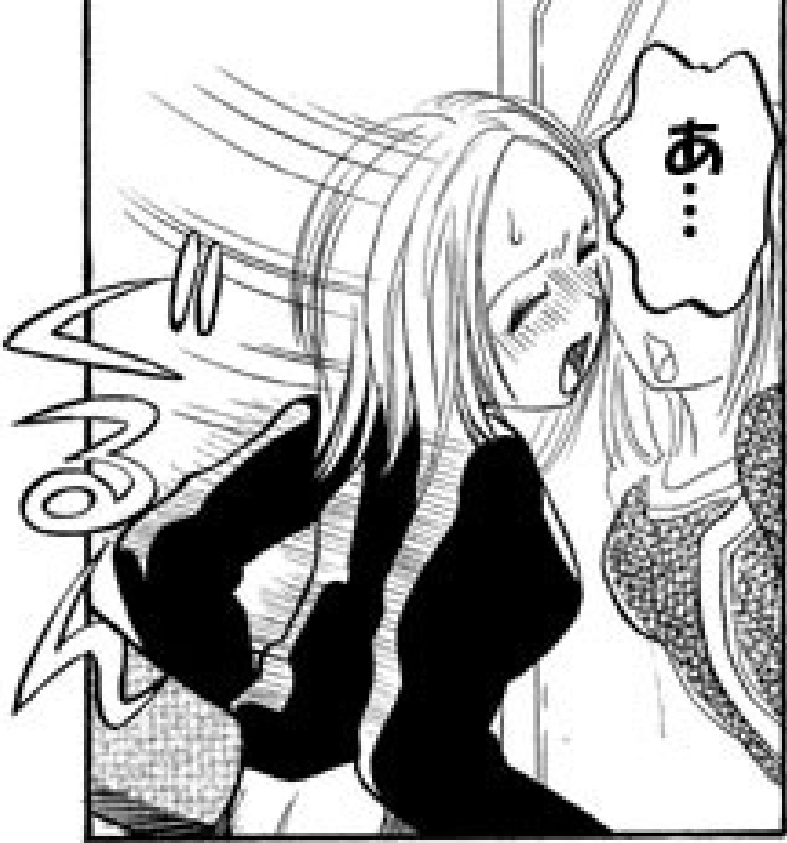
!!



私が
試着室に
入る所を
狙ってたの??

ベ
チ





あ…



逃げられない
よ〜!!



あ…は

ん…ん



は…

ん

H!!
H!!



は…



身動きもできない
狭い試着室で
助けも呼べず

この状況から早く
開放されたいと
願うばかりでした



あ……ん……

は……

ヌッ



だから
いやらしい事されて
本当はイヤなハズ
なのに



でも
このオジサン

休むヒマなく
私にHな「ト」を
しつづけでくるんです

身体の方は
どんどん感じて
きちちゃって……

幸い試着室が狭すぎたおかげで最後まででは
されませんでした

初めてされた痴漢に
自分でも驚くほど
気持ち良くなって
しまいました

こんな事されてるのに
感じちやうなんて……

私ちやうと

へんなのかなあ……？

あのデパートの
試着室は

孝か不幸か
痴漢のオジサンとは
その時以来遭遇して
いませんが

今でも

愛用しています